

みねおか地区コミ協



事務局
〒953-0072
西蒲区
鷺ノ木
1633-9
TEL・FAX
0256
73-4055

峰岡自治会地内に三根山藩址公園が有りますが、ここは旧三根山藩庁所在地でした。

今から387年前、徳川幕府開府から11年後に長岡藩から分家(牧野忠成公)し三根山藩は誕生しました。福井集落から尾根が連なる丘陵地で3つの小山に三根山藩は出来ました。長岡藩の武士たちと地域の農民たちが力を合わせ、20年の歳月を掛けて山を削り造成しました。江戸時代260年間繁栄の中で三根山藩は240年存続しました。

明治に入り入徳館小学校のグラウンドと成り1週100メートル走のコースが出来て住民運

三根山藩址公園の歴史とともに 約100本の桜が満開!

動会が行われる等、昭和53年の小学校閉校まで住民交流の場としても活用されました。その間に、グラウンドにソメイヨシノ桜が植樹されました。また、昭和の中頃にも2回目の桜植樹が行われました。

その後昭和53年に巻南小学校統合で小学校跡は入徳館野外研修センターに変わり青少年の研修場として利用されて来ました。

平成22年に牧野家15代当主(牧野忠由様)の關係団体から40本の桜が寄付され通算3回目の植樹が峰岡住民有志32人によって実行されました。直後に第6回「三根山藩址観桜会」を公園で開催し、篠田市長・牧野忠由様・田辺市会議員の3氏を招いて植樹祭を挙行了しました。

華やかな三根山の桜の景観と三根山藩史実は必見です。是非、一度お出かけください。

(文・金子 剛)

地域福祉計画 峰岡地区基本目標を決定

保健福祉部会長 大橋 誠一

① 今年度は西蒲区地域福祉計画の最終年度にあたり、来年度からの計画案をつくるために峰岡地区では座談会を2回実施しました。

座談会には区健康福祉課、区社会福祉協議会の担当者、峰岡地区コミ協保健福祉部会委員、自治会、老人クラブ代表者などが出席して協議。

地区での取り組み、今の状況、めざす姿、今後の取り組み等について意見交換を行い、次期地域福祉活動計画（2021年～26年）での峰岡地区の基本理念を「だれもが安心して暮らし続けられる峰岡地区」としたほか、3つの基本目標、行動計画（案）などを決めました。

新年度には区内9コミ協の計画を一つにまとめた西蒲区地域福祉計画の冊子が作られます。



② 今年は新型コロナウイルス感染の拡大を防ぐため、敬老会の内容を改めました。区内から100名を超す関係者が一堂に集って開催して

いた昨年までの敬老会を中止して、9月の敬老の日に敬老該当者全員へコミ協会長のお祝いカードを添えてニットマスクをお届けしました。

③ 保健・福祉関係の講演会については、コロナ禍で中止となりました。新年度は、これまでの行事が行えるよう、コロナ感染の早い収束を願っています。

北国街道クリーン作戦を終えて

総務部会長

石田 隆

昨年9月27日（日）心配された雨も早朝には上がり、当コミ協管内全自治会の参加のもと無事、実施できました。

ご協力有難うございました。

当、クリーン作戦実施の要綱を決める会議の中で北国街道のゴミの量は活動当初に比べここ数年不法投棄も見受けられなく、普通ゴミも少量で推移しているとの報告があり、地道に活動を続けた結果と一同が喜びました。

今の様子から、今年には作戦を中止してもよいのではとの提案がありました。

矢垂れの郷 (やたれのさと)

遊歩道・枝垂れ桜・花の広場がオープン

文化・スポーツ部会長 金子 剛

数年前まで雑木と雑草状態でうす暗く訪れる人も疎らな福井ほたるの里公園を改善しようと、角田山麓3コミ協（峰岡・松野尾・角田）が立ち上がり、平成29年末から伐採修復を開始した。

3年後の昨年10月末に当初の計画通り植樹を完了し、花ランドが完成した。

植樹内容は 枝垂れ桜40本・サザンカ40本・シャクナゲ30本・アジサイ30本で合計140本を実施した。

砂防公園と併せて公園外周の遊歩道（約3キロメートル）整備も行い、春には四季の花並木に多くの市民が賑わう、情景が日常化することを待望している！



しかし、稲島自治会長より地域住民の方より、旧採石場までの間でゴミの散在が見られるとの情報が寄せられていたものか。

旧北国街道、角田山、その周遊道路も地区の貴重な財産であるとの意見が出ました。

会議の結果、今回は角田山麓公園線の稲島く旧角田採石場間で実施することに決まりました。

収集してみたら、幸いゴミの量も想定より少なく一同安堵しました。ただ、ゴミとともに家電品の不法投棄が見られたのは残念でした。

なお、今回の実績をふまえ、今後は活動範囲、美化意識の啓蒙などを検討していきたいと思えます。今後とも自治会の皆様ご協力宜しくお願い致します。



通学路に 防犯カメラを設置

通学中の児童たちを事故や犯罪から守るため、地域の方の目が届きにくい通学路などに防犯カメラを設置しました。

この防犯カメラは、コミ協と各自治会が協力して、新潟市の補助事業を利用して整備したもので、管内の5地点に合わせて7台を設置、12月から稼働を始めました。

防犯カメラの整備により、管内の事故や事件の発生が一層防止されるのが期待されます。

また、記録される映像は、1か月以内に撮影されたものが残るようになっており、それより前の記録は自動的に書き換え、消されるようになっていきます。



令和2年9月6日(日)に、同じく巻西中学校を避難所としている桔梗ヶ丘自治会・割前自治会との4自治会合同で防災訓練を実施しました。

今年は新型ウィルス感染症を考慮し、各自治会の役員と班長のみが避難所に集まり実施しました。

役員・班長以外の世帯は、避難者カードを作成することで訓練に参加しました。

避難所入口では、検温、手指の消毒を行い、参加者はマスクを着用し、新型ウィルス感染症防止対策も徹底しました。

訓練では、西蒲区役所から用意いただいた「ダンボールベット」



と「間仕切り」の組み立て、巻西中学校の教頭先生から新型ウィルス感染症対策を踏まえた教

合同防災訓練

平成・ヴィラ
前田2自治会

室の使用方法についての説明、アルファ化米など保存食の配布を行いました。

自主防災訓練を中止する自治会が多い中、感染症対策をしながらの開催となり、とても有意義な訓練でした。

実施後の反省会では、巻西中学校を避難所としている他自治会との合同開催への働きかけ、水害を想定した訓練、避難所運営での役割分担を明確にすることなども考えながら、来年は実施していきたいとの意見が出されました。

地区の人

安全な通学の支え手

猛暑の夏も厳寒の冬も、子供たちの通学時間になると交通量の多い通学路に立って、事故のない安全な登校を見守ってくれる人たちがいます。

子どもたちからは「セーフティのおじさん」と親しまれ、交差点で信号を無理に通過しようとする危険な車両から、横断する児童生徒たちの安全を守っています。

活動場所は交通量が多い、横山バイパスのJAこしわ支店付近、前田橋西詰付近の交差点、峰岡自治会内通学路などで、学校が休みの期間を除いて通年行われています。

活動開始から10年以上となった前田自治会の長井正雄さんは、「弱い立場の子供たちの安全を守るために続けてきた。これからも見守り隊メンバーといっしょに、学校、PTAなどと協力して続けたい」と横断する子供たちを見守りながら話されました。



防災マップを 検討中です

安全部会長
遠藤 一雄

安全部会では、峰岡地区の安心・安全に係る防犯・防災並びに交通安全に関する事業を担当しておりますが、令和2年度に予定していた事業の大半が新型

コロナの為に中止・延期となりました。
現在は福祉防災マップの作成を検討しています。
地域の高齢化率が高いことから、地震・津波等の災害発生時の住民の安否確認、避難誘導対策等が課題となってきたため、各自治会の状況を把握し、マップにすることで要援護者の避難対策などにも役立てたいと思います。

そば打ちできましたよ！ 峰岡公民館講座

年の瀬もせまった昨年12月12日、峰岡公民館でそば打ち講座が行われ、親子連れなど20組の皆さんが本格的なそば打ちに挑戦しました。

同館では新型コロナウイルス感染症問題が発生してから、長寿大学など、おおぜいの人が集ま

る近所にあるJA巻営農センター併設の農村婦人の家をお借りし、同センターの古井様より、材

親睦行事 味噌づくりを体験

平成ヴィラ越王団地
自治会長 川端 彰

当自治会では、昨年12月6日に親睦行事の「味噌づくり体験」を行いました。

コロナ禍の折、開催可否に迷いましたが、巻社協より「歳末たすけあい助成金対象事業」として後押しして頂いたこともあり、感染防止対策をしっかりと講じた上で行いました。

会場は、当会から徒歩で行け



料調達から味噌づくりの講師までご紹介頂き、大変ご親切にして頂きました。

おかげさまで初めての味噌づくり体験行事は大成功に終わり、仕込んだ味噌約100キログラムは、1年後には熟成発酵した美味しい味噌に仕上がります。

令和3年度の親睦行事は、「味噌づくり体験の後編」として仕上げた味噌を1キログラムずつパック詰めして、当日参加出来なかった世帯も含め全世帯に配るほか、参加頂いた皆さんでその味噌を使って豚汁を作り、楽しもうと計画しています。

って受講するほとんどの講座を中止してきました。

今回のそば打ちは「こね鉢」「のし棒」などの道具が人数分あり共用しないこと、広い講堂で2メートル以上の距離が確保できることなど感染防止対策が可能なことから実施されました。

受講した人たちは、2人の講師による実演・説明を聞いた後、それぞれの席に座って、そば粉に分量の水を加えて一生懸命にこねて、薄く伸ばして切りそろえて、用意されたそばつゆといっしょに持ち帰りました。



リレー探訪

布目探訪記

布目自治会長 堀田 正



北国街道を稲島へ向かう、集落をはずれる、正面に角田山が雄大にそびえる。左側に仁箇堤(にかづつみ)、右側に上堰潟(うわせきがた)、それぞれ四季折々の顔を見せている。



① 布目夫婦桜 春先、上堰潟への排水路両脇に2本の桜がお互いに支えあう姿は、まるで手をつないでいるような枝ぶりが微笑ましい。誰が名付けたか、布目夫婦桜(ぬのめめおとぎくら)、上堰潟の菜の花とともにカメラスポットとなり、最近多くのカメラマンが訪れる。この木は80年以上前に、田んぼの区画整理の記念に植えたもので、風雨にさらされるうちに

現在の姿になった。

西蒲区をPRする短編映画「ハモニカ太陽夫婦桜の木の下で」はこの桜の下で撮影された。② 地域に伝わる盆踊り唄 唄の歌詞に「布目おまんとお平沢清水、音に聞こえし関東まで」と歌われている。

かつて、この村に住んでいた漆黒の髪が自慢の美女と、平沢の清の清水の美味しさが街道を往来する旅人に広まり、遠く関東まで評判になったと唄われていた。

ときに、村人が集まると、「どこの家の人だ」などと今でも話題になることも。



- 阿部 信一 (委員長・平成ウイラ越王台団地自治会)
- 植松 潔 (副委員長・鷲ノ木自治会)
- 石田 隆 (総務部長・下木島自治会)
- 大橋 誠一 (保健福祉部長・仁箇自治会)
- 遠藤 剛一 (安全部長・上木島自治会)
- 金子 智雄 (文化・スポーツ部長・峰岡自治会)
- 笹川 剛 (コミ協事務局)
- 三宅 澄夫 (コミ協事務局)
- 小林 和美 (コミ協事務局)

広報委員会メンバー

峰岡地区コミ協では機関紙の発行をはじめとした広報活動をすすめるため今年度、広報委員会を拡充しました。コミ協からの案内や地域からの話題を取り上げ、地域の交流を図りたいと思います。

編集後記

コロナ禍で、コミ協の諸活動も中止が相次いでいます。一刻も早くコロナの収束と活動の再開ができることを祈るばかりです。

新型コロナ感染症相談窓口

(新潟県ホームページから引用)

毎日ニュースで、新型コロナウィルス感染症の猛威について報道されています。東京都ほかの地域には「緊急事態宣言」が出され、県内でもほぼ毎日新規感染者が報告されています。

さいわい、私たちが住む峰岡地区は今のところ発生の報告はありません。

しかし、近くまで来ている可能性は十分にあります。「マスク、手洗いなど」基本的な予防行動を確実に実施してください。

もし、異常を感じたときは下記の新型コロナ受診・相談センター窓口へ相談を！

「新型コロナウィルス」
早めの電話相談、早めの受診
 ◆かぜ症状(発熱、せき、のどの痛み等)
 ◆息苦しさやだるさなど、普段と異なる症状

【新型コロナ受診・相談センター窓口】
025-256-8275
 ※毎日24時間対応(土日・祝日含む)

新潟県